

注目されるアセアン経済共同体の発足 アジアをテーマに2つのセッションを開催

「ツーリズムEXPOジャパン2015」では9月25日と26日の2日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイト・会議棟で「Tourism and Culture」旅と文化」を

テーマに、「国際観光フォーラム2015」が開催されます。「観光立国」の推進に向けて、オールジャパンでの取り組みが進められる中、アジアで最大規模の総合旅行イベント「ツーリズムEXPOジャパン」における国際

会議として、アジアをリードする最先端のツーリズム情報や手法を共有・発信する役割など、「国際観光フォーラム」への期待は内外から高まっています。

国連世界観光機関(UNWTO)のスー・ジンアジア太平洋地域部長は、「国際観光フォーラム2015」のテーマとして「旅と文化」が掲げられていることについて、「JATAが日本のツーリズム産業をリードする組織としてツーリズムにおける文化の重要性

を認識している事実を証明するもの」と歓迎し、世界的な規模での持続可能なツーリズムの発展に向けて、日本とアジア太平洋地域が果たすべき役割への期待を表明しています。

今年のテーマ別シンポジウムでは、太平洋アジア観光協会(PATA)の協力による「アジア旅行市場分析2015」と日本アセアンセンターとの共催による「第1回アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム」アセアン経済共同体発足でツーリズムはどう変わる?というアジアをテーマとするセッションが予定さ

新たな顕彰事業のジャパン・ツーリズム・アワード UNWTOとの連携で国際部門表彰設定

「ツーリズムEXPOジャパン2015」では、新たな顕彰事業として「ジャパン・ツーリズム・アワード」がスタートします。

JATAが昨年まで実施してきた「JATAツーリズム大賞」を吸収して発展的な形として発足するものです。

表彰部門は、「国内・訪日(インバウンド)」「海外(アウトバウンド)」「国際(UNWTO)」の3部門で、「国際」部門では、国連世界観光機関(UNWTO)総会で制定された世界観光倫理憲章の署名会社・団体と同憲章署名団体の会員会社が顕彰の対象となります。同憲章の趣旨に沿って、日本国内においてレスポンスフルツーリズム(社会的責任を果すツーリズム)を具体的に推進



新たな顕彰事業としてスタートする「ジャパン・ツーリズム・アワード」のイメージロゴ

ツーリズム産業の発展に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」のシナジーに寄与する取り組みについて、内外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰する「ジャパン・ツーリズム・アワード」は、

してきた企業団体をUNWTOとの連携の中で顕彰して参ります。同顕彰事業を通じて、同憲章の理解を日本国内の自治体・業界・関連団体へ広めると共に、日本における先進的な好事例を世界へ発信していくこととなります。

スー・ジンUNWTOアジア太平洋地域部長は、「ジャパン・ツーリズム・アワード」で「国際」部門が設定されたことについて、「日本のツーリズム産業における官民の両部門で世界観光倫理憲章への理解の拡大と深化を目指すものであり、日本におけるレスポンスフルツーリズムの成長を促すことが期待される」と語り、その意義を強調しています。